

日本自動車工業会 創立40周年



日本は世界一のロボット大国と呼ばれている。日本ロボット工業会と日刊工業新聞社共催の国際ロボット展では国内外のロボットメーカーが新製品・新技術を披露する

競争力を強化 広がる活躍分野

日本ロボット工業会は創立40周年を迎えた。第1次ロボットブーム、経済のバブル成長・壊滅、第2次ロボットブーム、リーマン・ショックなど多くの成長期と停滞期の影響を受けながら、着実にロボット産業は発展してきた。

テクノロジー高度化 成長産業の新たな戦略

A black and white head-and-shoulders portrait of a middle-aged man with short, dark hair. He is wearing glasses, a dark pinstripe suit jacket, a white shirt, and a light-colored, patterned tie. He is smiling slightly and looking directly at the camera. The background is a plain, light color.

日本ロボット工業会 会長 高尾 光俊

A black and white portrait of a middle-aged man with glasses, wearing a dark suit, white shirt, and patterned tie. He is smiling slightly. The background is a textured wall with Japanese text. The text on the left side of the image is a speech by the speaker, and the text on the right side is a 40th anniversary message from the Japan Robot Industry Association.

課題解決型技術として社会に貢献

してもその解決方策を探

れていたことなどもあり、1990年代初頭以降は増減を繰り返していた。しかし、わが国の産業競争力強化や、介護・医療といった身の回りの世話、地震・水害などの災害対策、清掃・警備といったオフィスでの活躍など、社会的課題の解決・ニーズに応えるための

・状況認識能力や、自律的な判断能力や作業遂行能力を向上させ、生活空間などの状況が変わりやすい環境下においてもロボットが確実に稼働できるようにするために知能化技術の融合を促進させた。さらに、ロボット単体の開発・実用化だけでなく、社会の中でどう

な競争力強化に向けて取り組むべきことはロボットの安全課題、ビジネス振興のための制度整備、標準化の推進などである。これらの課題をクリアすることで、自律的に多様な作業を行うロボットが誕生し、ロボット産業のさらなる裾野の拡大が期待される。

豊富な実績と先進のテクノロジー—— カワサキロボットが未来を創ります。

Simple and friendly **Kawasaki Robot**



川崎重工業株式会社

東京本社 〒105-8315 東京都港区海岸1丁目14-5 TEL. 03-3435-6852 明石工場 〒673-8666 兵庫県明石市川崎町1-1 TEL. 078-921-2946

<http://www.khi.co.jp/robot/index.html>